

施策評価シート(平成16年度の振り返り、総括)

作成日 平成 17 年 8 月 9 日

施策No.	39	施策名	協働によるまちづくり
主管課名	総務課	主管課長名	細谷 勇一
関係課名	健康増進課、福祉課、農政課、環境課、建設課、生涯学習課、社会体育課、社会福祉協議会事務局		

施策の目的 対象	<ul style="list-style-type: none"> 市民 市民活動団体(ボランティア団体・NPO) 自治会 事業者 	対象指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		人口	人	65,779	66,094	
		市民活動団体数(登録団体数)		32	33	
		自治会数		74	74	

施策の目的 意図	市民と行政が一体となったまちづくり活動を行う	成果指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		まちづくり活動に参加している市民の割合	%			36.3
		社会的に責任のある活動を継続的に行っている団体の数		32	33	
成果指標の把握方法(算定式など)	市民意識調査による入手 各種団体の実態調査による入手...関係各課で把握					

成果指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 市民のまちづくり活動への参画度と活動量を成果指標とする。 市民意識調査で把握...(例)あなたはどのような地域・コミュニティ活動に参加していますか 社会的に責任のある活動を継続的に行っている団体の数は、登録ボランティア団体の数及び、NPO法人の数をを用いる。
------------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	行政は住民に対する啓発と参画のきっかけづくりを行う。また、各種団体を紹介し、連携を図る。住民は地域社会に対する関心を高め、自分の地域は自分でつくると意識のもとに積極的に活動する。事業者も、社会貢献に努める。
-------------------------	---

16年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は自治会活動や公民館活動が盛んであり、市民が積極的にまちづくり活動に参加している。 平成3年ころからゴミ分別問題をきっかけに地域活動の醸成がなされてきている。地域活動の基盤となる自治会の加入率は88%を超えており、県内でも高い水準にある。行政と市民のパイプ役として74の自治会が果たす役割は大きい。 地域の公民館(109館)を中心とした地域活動も活発に行われてきた。
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 14年度から3か年で総合地域づくり事業を全市的に展開してきた。地域福祉・健康づくり・交通安全・子ども育成などのメニューの中から地域が選んで実施した。 交通安全推進事業についても多くの自治会で実施された。地域では、防犯パトロールをおこなってきた。 老人クラブや道路・河川の愛護会による環境美化活動も継続的に行われてきている。 地域の公民館を中心とした地域活動が活発に行われている。環境美化活動として「花いっぱい運動」を地域公民館単位で実施した。 環境基本計画を策定し、市民・事業者・行政が連携を図り、環境活動に関し協働で推進を図ることになった。
	<p>3. 施策の課題認識と改革改善の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働とは、対等の立場で活動することだが、現状は「市民参加のまちづくり」の段階にある。それを協働のレベルに進化させていく。 はつらつ地域づくり事業の推進を図る。 ボランティア団体・NPO団体等の総合窓口の設置(紹介・案内・連携等) 環境活動に関し、今後環境パートナーシップ会議を立ち上げ、拡大推進ができるかが課題である。 外国人との交流ボランティアの推進